

本日のプログラム

例会 第2744回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告
- 8.出席報告
- 9.スマイルBOX
- 10.本日の卓話
- 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・12月7日(金)
卓話：神谷一博君
- ・12月14日(金)
卓話：湯河原町長
富田幸宏様
- ・12月21日(金)
卓話：西山 敦君
- ・12月28日(金)
休 会



会長挨拶

本日は協ガバナーにお越し頂き、南谷さんの入会式をさせていただきます。

まず最初に会長挨拶として、毎年11月第3木曜日ボジョレー解禁になり、ワイン好きな私として、ワインの関連をお話させていただきます。

2018年は今年のボジョレーは、
"珠玉のヴィンテージとして歴史に刻まれる"と言われるそうです。

ちょっと興味が湧いたので、ワインに共通するクラブを調べて見ました。

なんと、宮崎北ロータリークラブは、「ワイン会」を発足されていたり、彦根ロータリークラブは、ワインクラブがあり、また、海外に目を向けてみると、サンフランシスコ・イブニング・ロータリークラブは、ワインバーでのクラブ会合をやっているそうです。

本日入会の南谷さんのレストランで、ワイン会も企画したり、湯河原ロータリークラブも益々楽しくしていきたいと思ひます。



出席報告	ゲスト 0名	ビジター 2名	会員 25名
	欠席 2名 (免除者0名)		前回の修正出席率 78.26%
	出席率 92.00%		前々回の修正出席率 91.30%

事前メイクアップ 0名

ビジター 第2780地区 ガバナー 脇 洋一郎君 (茅ヶ崎湘南RC)
第2780地区 地区幹事 脇 吉昭君 (茅ヶ崎湘南RC)

第2780地区 第9グループ

湯河原
ロータリークラブ

会長 石田 浩二
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上
湯河原町宮上 566
湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30



平成30年11月30日(金)

天候 晴れ

合唱 我らの生業



国際ロータリー2018-19

RI 会長 バリー・ラシン

第2780地区

ガバナー 脇 洋一郎



インスピレーションになろう

<国際ロータリー日本事務局より> 1. 12月のロータリーレート 1ドル112円

<ガバナーより> 1. 11月13日開催 「クラブ研修リーダーセミナー」でご講演いただきました、辰野克彦氏（東京西RC）「クラブ研修リーダーの役割」、相澤光春氏（PG・ふじさわ湘南RC）「戦略計画とその実践」、両氏の資料を地区Webに掲載いたしましたので、ご活用いただきますようお願い致します。

小田原青年会議所より> 1. 賀詞交歓会のご案内 日時：2019年1月5日（土）18時～

場所：湯本富士屋ホテル 登録料：6,000円 回答期限：12月1日（土）

<神静民報社より> 1. 第9グループ連名の年賀広告掲載のお願い 広告掲載料：10,000円

<湯河原新聞より> 1. 年賀広告掲載のお願い 広告料5,000円

<連絡事項> 1. 12月の例会は、7日、14日、21日、28日の通常例会です。14日は富田湯河原町長の卓話となります。

スマイルBOX

11月16日～29日

- ・ご夫人誕生日 伊藤伸之君（和子様・11/30）
- ・第2780地区ガバナー 脇洋一郎君
10月26日の公式訪問の際には大変お世話になりました。本日は新会員の方の入会式、楽しみにしてまいりました。
- ・第2780地区 地区幹事 脇吉昭君
初めておじゃまします。本日はよろしくお願い致します。新会員入会式おめでとうございます。
- ・石田浩二君 南谷さんご入会おめでとうございます。末長いお付き合いが出来ますよう宜しくお願い致します。
- ・石田浩二君 脇ガバナー及び脇地区幹事、本日は入会式に際し湯河原の地にお越し下さり誠に有難うございます。今後とも湯河原RCを宜しくお願い申し上げます。
- ・神谷一博君 本日は、新会員の入会式に脇ガバナーはじめ脇地区幹事にお越しいただきまして大変恐縮しております。ありがとうございます。これからも御指導よろしくお願い致します。
- ・平間章弘君 本日1名増強できました。本年度2名の増強です。
- ・杉山茂久君 もみじの茶会無事に終わりました。11月17日・18日、2日間の担当でした。
- ・小倉高代君 熱海ガスさんで今月からiPad講座を毎月する事になり熱海新聞、湯河原新聞に載りました。

卓話：高知尾 朝行君

ゲスト：湯河原町役場 地域政策課 副課長 防災係長事務取扱 二見年昭様

湯河原町防災コミュニティセンターについて

旧湯河原中学校の跡地利用に関し、敷地北側では平常時は、地域住民の日常的な健康・福祉・教育・コミュニティ活動の場となる役割を持たせ、災害時には、地域の防災拠点となる役割を持たせる活用計画を考えております。

そこで、平常時では、住民のコミュニティ活動の場として、多目的に利用できるスペース及び防災情報を発信できる機能を備え、災害時では、住民の安全・安心な暮らしを確保するため、災害活動の拠点及び避難施設としての機能をそなえた施設整備を目的とする、「防災力の強化」や「地域コミュニティ形成促進」の観点から、平成29年度と30年度の二箇年の継続事業として、湯河原防災コミュニティセンターを現在整備しております。

建設地にあつては、町民体育館の南側、旧湯河原中学校のプラネタリウムがあった場所となり、町民体育館のレベルから見て、地上2階、地下1階、延床面積約2,000平方メートルで、構造は鉄骨造となり、高さは、町民体育館レベルからだと、約8メートル、地下階（半地下）からだと12.15メートルとなります。

施設の概要でございますが、地下階は、防災倉庫となり、防災備蓄品等を保管するスペースとなり、避難所機能として、「簡易シャワー」、トイレを完備しており、西側の町道に接している側には、ピロティがあり「防災用井戸」設置され、またガス施設もございますので、炊き出し等も可能な作りとなっております。

次に、1階でございますが、平時は、主に教育委員会の事務所となっておりますが、災害時には防災拠点となるため災害対策室があり、防災行政無線の遠隔制御装置や、外部との通信手段のため、無線設備等をそなえております。

また、避難所機能として、トイレ台数を増強しており、町民体育館に避難者等を含めまして対応できるよう対策をとっております。

次に、2階でございますが、こちらは、4つのコミュニティルーム及び、防災研修室があり、防災研修室は面積約330平方メートルで、音設備、大型スクリーン等による映像設備及び簡易ステージを備え、イス席での使用であれば350人を収容できるものとなっております。

また、稼働する間仕切りにより防災研修室1及び2に分けて使用することも可能です。これらは、平常時ではコミュニティ機能として、災害時には260人を収容できる避難所となります。次に屋上です。こちらの施設は、海拔が町民体育館レベルで14.5mで津波浸水想定区域外でございますが、外部階段も設置し屋上へも避難することも可能です。屋上には、防災コミュニティセンターと上空からも認識できるよう、ヘリサインも整備いたします。

また、非常用発電設備等も完備しております。

近年の情報は、南海トラフ地震及び首都直下地震が30年以内に7～8割の確率で起こるなどと言われているところでございます。

ほかにも昨今の異常気象による、豪雨による水害、台風の大規模化や火山噴火等も懸念されるところでございます。

それらを踏まえまして、町の防災機能について強化していかなければならないと考えており、こちらの防災コミュニティセンターをはじめとするハード整備や、各種防災訓練、ハザードマップ等の作成や更新、防災講演会や防災出前講座などのソフト対策等も充実させ、災害に強いまちづくり、人づくりの推進を図ってまいりたいと思っております。

最後に、こちらの湯河原町防災コミュニティセンターは、平成30年度末の完成の予定となっております。

説明は以上です、ありがとうございました。